

# 海外研修英語（文化）

2018年4月1日

全学教育センターでは、毎年夏期、春期に以下のような協定校で海外英語（文化）研修を実施しています。ここでは各研修の内容や魅力をご紹介します。興味がある人は4月に行われる説明会にご参加ください。これらの研修に参加し、一定の成績を修めると、普遍教育科目の「海外研修英語 / 海外研修英語文化」の単位が認定されます。

## アメリカ

### アラバマ大学（海外研修英語）



千葉大学と提携している米国アラバマ大学でおこなわれる研修です。毎年、2月の中旬から4週間にわたっておこなわれます。アメリカの州立大学は広大なキャンパスが特徴ですが、その広さは実際に行ってみないとわかりません。そのキャンパス内にある学寮で生活しながら英語研修を受けます。アトランタ経由でバーミングハムまで移動し、そこから車で1時間のところにあるタスカルーサにそのキャンパスはあります。歴史の古い大学で、千葉大学の学部学科すべての領域をカバーしていることは注目すべきでしょう。この英語研修をきっかけに、アラバマ大学に正式に留学した学生が過去に何名もいます。

■ 問い合わせ  
総合校舎6号館1階 土肥研究室  
mdoi@faculty.chiba-u.jp

### アラバマ大学（海外研修英語文化）



アメリカ南部の文化、歴史について現地で講義を受けるとともに、遺跡、博物館、記念公園等、文化的高い価値を有する名所を訪れ、体験学習することを通し、アメリカ文化について学習しながら、英語コミュニケーション能力の向上を図ります。

アラバマ州最初の公立大学として1831年に設立されたアラバマ大学。南北戦争前の様式の美しい建物が点在するキャンパスは千葉大学西千葉キャンパスの10倍以上。キャンパスを走るバスに乗って、キャンパスマップ、デジカメを持ってキャンパスを散策するだけでも、とても楽しい。10万人以上を収容するフットボールスタジアムは圧巻で、プログラムにはスタジアムでのホームゲーム観戦も含まれる。

■ 問い合わせ  
総合校舎6号館1階 高橋(秀)研究室  
htaka@faculty.chiba-u.jp

## カナダ

### アルバータ大学(海外研修英語)



アルバータ大学はカナダの首相やノーベル賞受賞者を輩出している研究重点大学で、バンクーバーからロッキー山脈を越えて約1時間のアルバータ州の首都エドモントンにあります。ホームステイをしながら、①新学期の活気溢れるキャンパスでカナダの多文化・多言語主義を肌で感じ、②他国の留学生と一緒に能力別少人数制クラスで英語の4技能を学びます。③午後は開拓村でカナダの歴史を学ぶほか、乗馬やミニゴルフも体験します。④2泊3日のカナディアンロッキーへの小旅行ではレイク・ルーズでカヌーを漕ぎ、壮大な滝までハイキングをします。英語を実際に使いながら大自然を体験する研修で皆さんの可能性を発見してください。

■ 問い合わせ  
総合校舎7号館3階 大山研究室  
ohyama@faculty.chiba-u.jp

## イギリス

### ボーンマス美術大(海外研修英語文化)



英国ボーンマス美術大学と協力し、おもにアート、デザインの面からイギリスの文化・歴史について英語で学びます。研修は現地での英語講義と実習を組み合わせる

形で行われます。ロンドン、バース、ソールズベリーへの研修旅行が含まれ、遺跡、博物館、美術館など、文化的高い価値を有する名所を訪れ、体験学習も行います。

ボーンマス美術大は1885年創立の美術、デザイン、メディアコースを開講するイギリスでも指折りの専門レベルの大学。こぢんまりしたキャンパスはまさに、芸術村。英語を学べるプログラムもあり、留学生に対する英語教育にも重点を置いている。バスで10分ほどのところに美しいビーチもあり、夜9時過ぎまで明るいイギリスの街を満喫できる。

■ 問い合わせ  
総合校舎6号館1階 高橋(秀) 研究室  
htaka@faculty.chiba-u.jp

## オーストラリア

### モナシュ大学(海外研修英語)



モナシュ大学は、メルボルンにあるオーストラリア最大の大学です。オーストラリアは国連開発計画（UNDP）が発表した健康・教育・生活水準を示す人間開発指数で世界第2位（2013年）で、メルボルンはエコノミスト誌が発表した「世界で最も住みやすい都市」のランキングで世界第1位（2011, 2012, 2013年）になっています。初級者から上級者までの習熟度別少人数クラスに分かれて他の留学生といっしょに英語を学び、4週間のホームステイでも現地の人々と異文化体験をすることができます。世界中から移民を受け入れているオーストラリアの大都会と大自然の中で英語と多文化を学ぶことは、今後の人生観を大きく変えてくれることでしょう。

■ 問い合わせ  
総合校舎1号館2階 ハリントン研究室  
luke@chiba-u.jp  
総合校舎6号館1階 土肥研究室  
mdoi@faculty.chiba-u.jp



